

Q DV加害者対策を法制化するための具体的な方策を伺いたい<全議員への質問>

【福島みずほ参議院議員】

DV防止法を改正していく必要があると思います。

特に、加害者についての規定を設けることや保護命令についての規定を改正して、オーストラリアのように退去命令を長くして、女性が自宅に住むことができるような改正を考えることなどがあると思います。

【木村英子参議院議員】

現在すでに、加害者プログラムを行っている支援団体があります。しかし、資金的な援助が全くない状況であり、大変困っているので、予算措置を早急にするべく各関係部署に働きかけをさらに進めるとともに、各被害者支援を行っている現場当事者、支援者、各種専門有識者からなる加害者プログラムの策定チームを作ることを政府に働きかけ行きたいと思いません。

【木村やよい衆議院議員】

国は、加害者プログラムの試行実施を今年度3自治体で行う予定で、その検証を踏まえて、今年度中にガイドラインを作成する予定と聞いています。

法律の内容にもよりますが、加害者へのプログラムは、法律があってもなくても進めなければなりません。

【池内さおり前衆議院議員】

住居から退去させたり、帰宅や連絡を禁止したりするなどの緊急的な接近禁止命令や保護命令を出せるようにすべきです。

あわせて、加害者に更生プログラムへの参加を義務化するなど進めるべきです。2011年の欧州評議会の女性に対する暴力およびドメスティック・バイオレンスの防止およびこれとの闘いに関する条約(イスタンブール条約)では、対人関係において非暴力的行動をとることを教えるプログラムや再犯を防止するための治療プログラムの設置、そのための支援について必要な立法上その他の措置をとることとしており、それらを参考とした法制化を検討すべきです。

【伊藤孝江参議院議員】

DV加害者対策としては、DVの範囲、啓発・教育や再発防止など加害者を作らないための取り組み、処罰の見直しなど、様々な観点での検討や対策が求められます。

それらの課題における現行法制度での限界、地域差の解消など、法制化の必要性について、国会や党内で議論を活発化させていけるよう、取り組んで参ります。

【福山哲郎参議院議員】

・加害者更生プログラムの法定

基本方針や基本計画の記載事項として、加害者更生プログラムの実施に関する事項を明記する。

・加害者更生プログラムを受けさせる仕組みの創設

DV 加害者に加害者更生プログラムを受けさせるための仕組みを設ける。加害者更生プログラムの実施については、国や地方自治体が責任をもって体系的に行うべきものであることを明らかにした上で、DV 加害者にできる限り加害者更生プログラムを受けさせる仕組みを創設する。

・効果的な加害者更生プログラムの導入

改正児童福祉法等に検討条項として規定されたものであり、加害者更生プログラムが被害者救済の視点からより実効的なものとなるよう、加害者更生プログラムにおいて、リスク・アセスメントを導入するとともに、再教育や防止教育を強化する。

Q 先日、子との面会を求めハンストしたフランス人男性について SNS で好意的に発信しておられた牧原議員（自民）、海江田議員・真山議員（立憲）、串田議員（維新）、などの皆さんについて、同じ党のみなさんはどう考えておられるかお聞かせください<木村やよい議員、宮崎政久議員、福山哲郎議員、梅村みずほ議員への質問>

※<https://www.afpbb.com/articles/-/3356035>

【福山哲郎参議院議員】

事案について報道された内容程度しか承知しておらず、他の議員の考え方を把握していませんが、何より優先されるのは子どもの最善の利益です。子どもにとって安全で、安心して生活できる安定した環境を確保することが最優先です。

特に、DV 事案の場合、面会交流等で2次被害につながるリスクもあり、慎重に検討するべきと考えます。そのために親や社会はどうすべきかという発想が必要と考えます。

Q 杉田水脈議員の「女性はいくらでもウソ」発言についてのご意見を伺いたいです<自民党・木村やよい議員、宮崎政久議員への質問>

(回答なし)

Q 日本では男性性暴力被害者のための臨床心理士などの専門家によるグループセラピーが行われていません。国立精神神経医療研究センターで男性性暴力被害者のグループセラピーのパイロット治験や研究を行ってほしいがいかがか

また、地方の男性性暴力被害者も参加できるようなオンラインのグループセラピーの治験や研究を行ってほしいがいかがか<宮崎政久議員、福山哲郎議員への質問>

【福山哲郎参議院議員】

実施すべきだと考えます。関係省庁に要請していきたいです。

Q 男性もふくむすべてのジェンダーの性暴力被害者の体系的な調査を実施してほしいが

いかがか<宮崎議員、福山議員への質問>

【福山哲郎参議院議員】

実施すべきと考えます。内閣府等関係省庁に要請していきたいです。

Q PTSDの心理療法の治療ガイドラインを作ってほしいがいかがか。

持続エクスポージャー療法、EMDR、認知処理法などの治療ができる専門家の育成を行ってほしいがいかがか<宮崎議員、福山議員への質問>

【福山哲郎参議院議員】

日本はPTSDの治療が遅れていると聞いています。性暴力被害者にPTSDの治療が必要との指摘があり、国としてもPTSD治療に本格的に取り組むべきと考えます。

Q 池内前議員におたずねします。性暴力被害者は男性もいます。他の先進国の調査では男性の6人に一人が性暴力被害者です。日本は男性性暴力被害者の支援が英語圏と比べて30年以上遅れています。まず全てのジェンダーの性暴力被害者の実態調査を政府だけでなく野党も行う必要があるでしょうか？

【池内さおり前衆議院議員】

女性に対する暴力は、歴史的な女性と男性の間の不平等な力関係の現れであり、社会的政治的にジェンダー視点で解決がおこなわれるべきものです。同時に、当然、男性に対する性暴力も尊厳を踏みにじる問題に変わりはありません。政府が行っている調査においても、件数は女性に比べて少ないものの男性被害者もいます。「男性であるからこそ、被害にあっても訴えにくかったり、軽視されたりする。苦しんでいる方たちがいます」との声も寄せられており、男性に対しても必要な相談窓口の設置や支援が行われることが必要であると考えます。

Q 梅村議員におたずねします。不同意性交について、婚姻関係においては殊更慎重でなければならないのはなぜでしょうか。検討会では、177条について婚姻関係を含むことが明記されることについては、唯一異論がない点です。

(回答なし)